



瑞山会会報

No.56

〈設立40周年記念号〉

編集発行
名古屋市立大学
経済学部同窓会
瑞山会編集部

令和元年 7月31日発行

ご挨拶



瑞山会 会長
村井 清(6期生)

瑞山会設立40周年事業として去る6月15日(土)、記念講演会・懇親会が成功裏のうちに終わりましたこと感謝申し上げます。正会員1万余名となりました瑞山会は会員相互の親睦をはかり母校の発展に寄与することを目的としておりますが、会員相互の親睦では引き続き支部拡大に努めより身近な存在とすること、母校への寄与では来年開学70周年、2024年に経済学部開設60周年を迎えますことに役割を果たして参ります。また設立時の原点に立ち返り先生方、大学事務局そして瑞山会が三位一体となって目的達成に向け前進したいと思っております。具体的には経済学部長そして山の畑事務長に顧問就任をお願いして基盤作りを進めます。財政基盤確立づくりとして会費の値上げ、寄附金の導入検討をして参ります。これからも関係各位のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

瑞山会設立40周年記念 令和元年度瑞山会総会兼代議員会・懇親会開催される

6月15日(土)名鉄ニューグランドホテルにて令和元年度瑞山会総会兼代議員会・懇親会が開催されました。

鳥羽理事の司会進行のもと、村井会長挨拶に続き、各議案の審議を実施。30年度活動報告、財政検討委員会報告、決算および監査報告が承認されました。令和元年度事業計画案、予算案は、財政検討委員会の報告を受け、厳しい財政状態の下で40周年記念事業および開学70周年記念事業を完遂する為、事業計画・予算立案と執行を収入範囲内で計画的に実施してゆく改革案などの審議が活発に行われ、承認されました。また、会員名簿の頒布については個人情報保護法遵守の為、これを中止し会員情報管理に徹する事および役員退任規定の明確化など承認され閉会となりました。(詳細は瑞山会ホームページ参照ください。)

その後開催された40周年記念講演会は、丹羽宇一郎氏(元中国大使、伊藤忠商事元会長)を講師としてお招きし、約240名の参加者のもと「混迷の国際政治下 日本の大問題を語る」をテーマに行われました。(詳細後述)懇親会は、来賓に堀場名古屋市副市長、名誉教授の宮

原様、神山様、程島様、吉田経済学部長、真下事務長、各学部同窓会代表の方をお招きし、教職員の皆様、現役学生も含め200名を超える方々に参加いただき、ギターマンドリン・クラブの皆さんの「ああ我ら名市大生」の演奏により華やかに開会しました。堀場副市長より、会員数1万人を超す瑞山会会員の皆さんが市役所・金融機関・一般企業で活躍されていることの頼もしさとして経済学部の環境整備を推し進めてゆくのお話がありました。また吉田経済学部長からは諸先輩のご尽力により瑞山会が40周年を迎えられたお祝いのお言葉と2020年の開学70周年記念事業として進めている山の畑学生会館のリニューアルのご紹介と同窓生の皆様からのご厚志により着実に実現したいとのお願いがありました。

土屋交流会会長の乾杯発声のあと、会員相互だけでなく現役学生からの相談や先輩からの社会人としてのアドバイスなど同窓会ならではの話に花が咲きました。また会場に設置した70周年募金や学生会館愛称投票コーナーにも多くのご協力をいただくなど和やかな時間が流れましたが、栗野顧問による中締めで閉会となりました。



瑞山会設立40周年記念講演会要旨 「混迷の国際政治下 日本の大問題を語る」

講師：丹羽 宇一郎氏



最近のニュースで、ホルムズ海峡で、日本向けに積み荷を積載したタンカー砲撃事件がありました。イランによる攻撃であるとアメリカは非難しているが、

何が真実かは不明である。

トランプ大統領は、ご承知のようにフェイクニュースで有名である。

フランスの大統領だったドゴール氏は「政治家が真実をいうはずがない」との言葉を残している。世論調査が発表される事がありますが、この調査対象者は多くて4-5千人程度です。

中国人と日本人お互いに「好きか・嫌いか」を尋ねたデータがあります。

以前は互いに90%以上が「嫌い」と答えていましたが、最近の調査では中国人は56%が嫌い、一方日本人は88%が嫌いと言っています。最近の政治情勢の変化で中国人の意識は大きく変わりましたが、日本人は余り変化がないといえます。

皆様の中でこの調査を受けた方はおられますか？

わずか4-5千人程度の調査結果が本当に正しいのか？疑ってかかる必要があります。

自分に知識があることは、真実かどうか判断出来るが、知らないことは信じてしまいます。

また農林省の元次官による引きこもりの息子殺人事件がありました。何故このような事件がおきてしまったのか。根源は息子の学生時代のいじめにあります。昔はいじめにあっても他の人が助けてくれることもあり大きな問題にはなりませんでした。

しかし今はインターネットの時代。あっという間に拡散し刃物を持たない暴力となり四面楚歌状態に陥り、結果自ら暴力に訴える事件となります。

人間が強くなるとは！！人間の成長は知識だけではない。偏差値が高いだけではダメで孔子やアリストテレスも困りました。人間の成長には「知識」「肉体」「心」が必要。しかし「心」が難しい。リーダーとして撤退する勇気・決断、弱いものを助けることが重要です。旧日本陸軍の「インパー

ル作戦」の失敗が証明しています。これは親が教えるものではない。教育では出来ない。真のリーダーは苦労を重ねた人、強い心を育てた人、つまりは努力をどれ位続けるかである。死ぬまで努力をなさい。

国連調査で世界幸福度ランキング2019年が発表されました。世界156カ国が対象ですが、日本は58位、前年54位からダウンしました。ちなみにアメリカは19位、韓国54位、中国は93位でした。評価項目の中で日本は特に社会的寛容度が92位と低かった。これはチャリティで寄付をしたことがあるかということの評価である。やはり日本人は弱いものに寄り添う心が必要で改善の余地が大きいと言える。

今日の本題ですが、中国の政治体制は7人の常務委員が担っている。それぞれに護衛が16-17人いるという国です。米中貿易戦争が激化していますが、この背景は文明・文化の戦い、白人至上主義、技術の獲得戦争です。この2国で日本の貿易額は輸出額で38.6%、輸入額で34.5%占めており影響は多大です。ヨーロッパの国で見ますと、対ドイツ、対イギリスは1%台で如何に中国、アメリカに偏重してるかが良く分かります。またOECD調査による主要国の科学者数では、2010年に中国は米国と並び120万人、日本は66万人でした。その後2015年には中国は160万人、米国は138万人、日本は66万人と変わらずでした。中国が国策として技術力の強化に必死に取り組んでいる事は、明らかです。

日本を取り巻く環境が不透明のなか今後日本の目指すべき事は、世界各国から日本独自の視点と強みを持って信用・信頼を得ることです。決してアメリカ一辺倒では成り立たないと思います。





瑞山会 記念会報 市長寄稿



瑞山会設立40周年、誠におめでとうございます。

医学部・薬学部の2学部だけの理系大学であった名古屋市立大学に、経済学部が加わり、総合大学としての歴史的な第一歩を踏み出したのは1964年。それから55年が経過した今、経済学部は名古屋市立大学を代表する学部となり、今春までの卒業生総数は1万人を超えた

たとのことで、大変誇らしいことです。

ナゴヤは、戦後、凄まじい廃墟の中から目覚ましい経済発展を遂げ、今や日本経済をけん引するほどにまで成長しました。しかし、今後、社会構造の変化や技術革新の加速など、従来の延長線では想像もつかない未来が待ち受けています。こうした中、遅れを取ることなく、今やるべきこと、先を見据えてチャレンジすべきことに積

極果敢に取り組んでいかなければなりません。

こうした大変革期を乗り越え、「世界に冠たるNAGOYA」を実現していくためには、名古屋市立大学の持てる力を存分に発揮し、地域社会の諸課題の把握・解決に寄与していただくとともに、教育・研究の成果を広く社会に還元していただきたいと思っています。そして、瑞山会は、経済学部を設置した15年目に設立され、今年めでたく40周年を迎えられたわけですが、人生に例えれば、これから脂が乗ってくる年代、色々なことにチャレンジしていく年代だと思えます。今こそ、随所でご活躍されている卒業生が強く結束し、名古屋市立大学を、また、このナゴヤをしっかりと支えていただくことを期待するとともに、瑞山会の皆様のご協力をよろしく願います。

名古屋市立大学経済学部の発展にご尽力されてきた皆様、諸先輩方に心より感謝し、敬意を表するとともに、皆様の益々のご活躍とご繁栄を祈念します。

令和元年 6月
名古屋市長 河村 たかし



瑞山会設立40周年記念式典 学長挨拶



瑞山会設立40周年、誠におめでとうございます。本日ここに盛大に記念式典が開催されますこと、心よりお慶びし、お祝い申し上げます。また、経済学部の発展にご尽力いただいております、吉田経済学研究科長はじめ関係の皆様、そして、まさに、それをお支えいただいている村井会長はじめ瑞山会の皆様に心より感謝を

申し上げます。

さて、昨今の大学を取り巻く状況は、目まぐるしく変化しており、今後も、変わり続けることと思えます。中教審の「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」によれば、

- ・大学は、多様で柔軟な教育研究体制を準備し、その質の保証がしっかりと図られるよう転換されていくこと。
- ・また、2040年には、18歳人口が現在の7割程度の88万人規模となる推計が出されていることを前提に、教育の質の維持向上という観点から、規模の適正化を図った上で、社会人や留学生の受入れ拡大も図るべきであること。

・そして、各地域における高等教育が、地域のニーズに応えるという観点からも充実し、それぞれの高等教育機関の強みや特色を活かした連携や統合が行われていくこと。

とされており、大学は生き残りをかけた荒波にさらされています。

こうしたことに対応していくためには、文系学部、とりわけ、経済学部の改革が大変重要になってきます。先を見越して、能動的・積極的に改革に取り組まれることを切にお願いします。

こうした取り組みをしていくにあたっては、大学の中における大学の理論だけで考えては通用しません。その点、瑞山会の多くの方は実社会で活躍されておられます。これまで以上に学部としっかりと連携しながら、活あふれる経済学部を実現するために力をお貸しいただきたいと思っています。

また、2020年には、名古屋市立大学は70周年を迎えます。これについては言うまでもないとは思いますが、皆様のご協力なくしては実現できないものです。最大の卒業生を擁する経済学部、そして、瑞山会の皆様の格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本日ご列席の皆様のご活躍とご健勝、そして、瑞山会の益々のご繁栄を祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。本日は、誠におめでとうございます。

学長 郡 健二郎

瑞山会 歴代会長座談会

日時 平成30年11月21日(水)午後4時半から

場所 経済学部 学部長室にて

- 出席者・初代会長 1期生 栗野 泰次顧問
(昭和53年から昭和62年迄)
・第2代会長 1期生 前田 勝昭顧問
(昭和63年から平成28年迄)
・現会長 6期生 村井 清
(平成29年から現在まで)
・現経済学研究科長(学部長) 20期生 吉田 和生教授
(平成30年から)
・司会進行 7期生 田中 喜夫
・記録 編集部 6期生 山田 一利、6期生 中野重治

田中 はじめに会長から一言お願いします。

村井 初代・2代と会長職を務めて頂きご苦労された話で、今後伝えていきたい話を是非お伺いしたいと思い本日お集まり頂きました。これ迄の卒業生の状況を整理しますと今年卒業生が累計1万人を超えました。卒業生は第1期135名、今年卒業の51期生が231名で累計10,043名となっております。40年前(昭和53年:1978年)の一昨日(11月19日)瑞山会が発足した記念日であります。以降の瑞山会活動の変節点として2003年個人情報保護法が成立し2005年4月施行され、以来名簿掲載者(捕捉率)が大幅に減少。2006年公立大学法人化され大学予算逼迫の中、徐々に瑞山会への資金協力要請が頻繁にされる。2013年交流会が発足し、交流会総会参加など種々協力要請が多く出されるようになった。会員名簿10号(平成26年発行)で見ますと記載累計47期までで8,797名、その後5年経過し現在会報が届けられる住所判明者が7,500名程度になり、住所不明者が増加しております。そのあたりを参考に話を進めて頂ければと思います。

田中 それでは栗野さんから「設立当時のご苦労話」等お伺い出来ればと思います。

栗野 卒業して名古屋市役所に就職し、市大に配属されたので同窓生の状況はつかみやすい立場にありました。同窓会を作ろうという声は散発的にあったと思いますが具体的な動きにはなっていませんでした。具体的な活動が始まる前に私たちが就職でお世話になった長坂さんから初代副会長になってもらった3期生の故山田さんや理事になってもらった都島さんたちが、同窓会を作りたいと言っているという話を聞きました。1期生の榊原さんや私がまとめ役を引き受け準備活動が始まりました。もともと卒業した時に寺町 信雄さん(金子ゼミ)を中心に同窓会準備の資金を募ろうという働きが有り仲間からお金を集めていたんです。10数万円設立総会時に寄付されたのがそのお金です。また、設立に際して後援会から10万、経済学部から15万と寄附を頂いたわけです。これを活動資金にしましたので金銭的には比較的恵まれたスタートだったと思います。



寺町 信雄さん

したが、当時は学生名簿が有り、学生の名前、親元の住所、電話番号、ゼミ、出身高校の情報が掲載されており大学で作成し、全員配布していた。今では考えられないでしょうがね。下宿していた人もいたので、準備

委員が手分けして親元に電話しました。中には不審に思われた親御さんもおられ怪しげな電話とされていたので、本人と連絡を取って頂いた後、当時の学部長に相談し連絡先を大学にして頂き、当時あった共同研究室に協力をお願いしたわけです。1回生は概ね補足し、会費もかなり納めてもらいました。同窓会の役割は当初は住所録を作る事が一番大きな事業でした。名簿は4年毎に作成する事とし終身会費を納めて頂いた方には無償で送付し、それ以外の方には有償で確か2,000円か3,000円で販売したと思います。その後事業部を作り色々行事を行ったわけです。

吉田 学生名簿も個人情報保護法の関係で廃止になり、データは有りますが平成13年以降は発行しておりません。かつては全て掲載できておりましたが。

田中 発足当時の会費は年会費2,000円、終身は1万円とのことですが会費の集め方でご苦労されたことは。

栗野 1期生が役員をしてくれていた事も有り1期生は結構集まった。

前田 私が会長になってからは入学時に徴収する事とした。医学部、薬学部は当時から既に入学時に会費を集めていた経緯が有ったので大学にお願いした。

田中 栗野さんは10年経って前田会長に引き継がれましたが、前田会長が昭和63年から引き受けられてどういう趣旨で引っ張ってゆこうとされていたのでしょうか。

前田 基本線は無駄な金は使わないなかで大学との協調、医薬と共に3学部での協調、特に同窓会仲間のコミュニケーションを大事にする事で事業部行事を充実し、麻雀、テニス、ゴルフ等を活発に実施し仲良くやろうとしたことが基本線でした。私も麻雀、テニス、ゴルフとやりました。

また 終身会費を1万円から2万円に引き上げて頂きました。

田中 前田さんは会員のコミュニケーションを大切に考えておられました。約30年会長を務められ瑞山会を発展させてこられました。

前田 中々次の会長を引き受けてくれる人がいなくて長くなりました。

村井 国のレベルでも事業承継が問題になっており、団塊の世代も70歳になり自分が起こした社業も息子世代が継がないという声も多く有る様で、70歳も一つの目安ですね。我々もあと2年で古希、そろそろ後進を育成する事も考え、新しいメンバーが新しい発想でやってくれば思っております。

田中 村井会長になられて大きな方針は。

村井 初年度事業計画として「名簿発行・会報発行・支部づくり・財政基盤の確立」を上げ、従来路線を継承しています。但し、会員名簿は4年に1度発行してきましたが、現在凍結しております。今後発行するかどうか企画連絡会・理事会で検討して参ります。一方会員情報は学部・同窓会にとって命なので、新規情報収集、更新含め更に精度向上を目指していきます。

前田 名簿の発行はしなくても名簿として更新し管理する事は同窓会として重要事項です。

田中 次に吉田先生から「瑞山会に期待すること、同窓会との関係」をお伺いしたいと思います。

吉田 同窓会に期待する支援頂きたいことは財政検討委員会にて現在検討頂いておりますが、同窓会との関係では前田会長の頃から検討事項であったかと思いますが、「教員との関係」が大事と思っています。偶然私は学部長で卒業生ではありますが、今後後継者を育てていかなければならない。それが将来的に一番大事な事で、今後それをどう構築してゆくか。私個人も務めてゆきますが一緒に「良い関係」を作り、一人ではなく二人・三人とつないでゆくことが重要。それが無いと学生と

の意見交換、情報交換が出来ない。それをどのように行うかが課題です。

田中 同窓会と教員、先生との関係はとても大切ですね。

吉田 それを一人一人繋いでゆくことが大事で、OB会でも一人一人繋いでゆくことが大事ですよね。今、3年生の総会懇親会招待が非常に有難い事で、3年生と若い先生がともに参加しております。

田中 4月の新任教職員との交流会もそうですね

吉田 そうです。いろんな方向で若い先生に繋いでゆることが次の同窓会の発展に大事だと思います。

村井 栗野会長の時、学部長・事務長そして長坂さんを顧問にされていましたね。

栗野 当時、長坂さんが就職担当で同窓会活動にも非常に熱心な方でした。同窓会の恩人といってもいいと思います。

村井 現在は歴代会長に就任して頂いていますが、次年度以降は顧問に学部長さんや山の畑事務長さんをお願いするのが良いかは別として、最低限お互いに理解を深める為の仕掛けが必要ではないかと思えます。

前田 先生方数名と同窓会との接点の場を作り、それを継続してゆくことが大事で、現在の学部長懇話会も大事だが、一方的な会ではなく、先生との継続的な話し合いをする会を作り、繋ぐことを大事にすべきですね。

村井 先生方にも瑞山会と話し合う機会に参加して頂ければと思いますが如何でしょうか。

吉田 中堅の若手先生にも協力してもらうために、理事は卒業生だけでなく中堅の先生を特別理事としてお願いし年2・3回理事会に参加してもらう。色々な事情から短期間で変更する事があっても長期的にみて必要であると思えます。

田中 次に「今後の瑞山会に期待すること、欠けている事」を皆さんから伺いたく思います。

栗野 現在、愛知淑徳大学に勤務しておりますが同窓会総会を「マリオット」にて500人規模で開催し、会費5,000円で有名なアーティストやユニークな先生の講演会を開いています。一昨年は青山学院大学駅伝の原監督を呼んだりして仕掛けている。その仕掛けが必要なのではないか。

田中 40周年として瑞山会は元伊藤忠商事会長、元中国大使の丹羽宇一郎氏に依頼している。テーマは「混迷の国際政治下 日本の大問題を語る」で300人集める計画です。

村井 30周年は伊藤元重氏に依頼し300人集める事が出来た。サブプライムローン問題の中アメリカ経済の将来を伺ったが、アメリカ経済は強いとの話を頂いた翌日にリーマンショックが始まった。(笑)

田中 前田さん他に何かご意見は。

前田 先生方とのコミュニケーションが必要。社会人大学院OB会(剣陵会)は先生と協力して講演会、著作の発表会や市民公開講座をしている。同窓会(瑞山会)も著書発行、講演会を実現しても良いのではないのでしょうか。

田中 村井会長の今後の瑞山会の有り様と言う事で思いはどうでしょうか。

村井 現在の本部行事に参加しているメンバーは役員と限られたメンバーになっている。費用をここにだけ使うよりもっと多くの人に参加してもらいたいという思いから支部の拡大を働き掛け、昨年関東支部の設立が実現できた。職域支部としては豊田合成、豊田自動織機が新たに支部として出来ました。

田中 吉田先生にお伺いします。将来的に期待する事はどうでしょうか。

吉田 現在の職域支部も大事ですが、同期会を活発にすべきです。1期生・6期生は大変活発と伺っていますが、そ

れ以外は殆ど出来ていないと思います。若い人は同世代では集まりますのでこのグループ作りが大事です。このグループを作っておかないと多分10年20年経ったときに、さあ同窓会を開きたいといったときに誰も連絡先を知らないと言う事になります。同期のカタマリ、これが同窓会の卵になりますので同期会に支援をしたらどうでしょうか。各学年10人ぐらいのグループを作る必要があります、長期的にみて大事となると思います。

山田 総会懇親会で1期、5期、6期、7期とテーブルを作ったが、これを増やす必要がありますね。参加している人が解れば次に自分も参加したいと言う事にもなる。総会に来た事が無い人が総会に来る契機は同期が来ているかどうかで、一人でも話し相手がいなく離れ小島で、浦島太郎状態では来たくないですね。

吉田 同期はゼミが違ってても同期と分かれば色々話が出るので私も同じです。

村井 仕掛けが大事で、卒業時に同期が集まる連絡網や世話役を作っておくとか、横のつながりが出来れば、何かで縦の繋がりが生きてきますね。ゼミとかクラブとか組み合わせる。

田中 今度の瑞山会設立40周年でそこに注目して核となる人に仕掛ける事がしたいですね。

吉田 核となる人が一人いれば広がり、リストが生きてきます。

田中 次に、話題提起や現状確認しておきたいこと等は如何でしょうか。

同期会への仕掛けや支部充実にしても活動費が必要で、今、収入・支出のバランスが問われて寄附の話も有りますが。

前田 私の意見は、毎年の現状の同窓会費の中で如何に運営するのが大事で、何もかもと言う訳にはゆかないでしょう。

田中 会としての将来展望はどうですか。

中野 行事が固定化し会報内容も例年同じでとなる。瑞山会活動も変化が必要。例えば今後5・6年は同期会に注力してゆくというように。ゴルフも飲み会も若い方は参加しない現状を見るとそう思います。

田中 話は尽きませんがこのあたりでお開きしたいと思います。

本日は有難うございました。

※掲載記事は、紙面の都合上抜粋版で作成しました。HPで全文掲載しましたのでご確認下さい。

右より反時計回りで前田前会長、栗野初代会長、村井現会長、吉田経済学科長、田中副会長



●平成30年度 決算報告

第41期収支計算書

(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

(収入の部) (単位：円)

勘定科目	予算額 (A)	実績額 (B)	差額(A)-(B)
会費収入 (新入会費 237 名分)	4,740,000	4,740,000	0
各部預金利息	100	117	-17
基金利息	1,600	1,694	-94
名簿売上 (第 10 号)	0	4,000	-4,000
基金取り崩し	673,300	212,748	460,552
その他収入 (注)	660,000	702,500	-42,500
収入計	6,075,000	5,661,059	413,941

(支出の部) (単位：円)

勘定科目	予算額 (A)	実績額 (B)	差額(A)-(B)
名簿発行引当金	500,000	500,000	0
名簿管理費用	74,000	54,216	19,784
会報発行費	1,112,400	1,026,366	86,034
総会費 (注 1)	2,192,000	2,168,769	23,231
事務運営費	542,600	516,910	25,690
通信費 (注 2)	29,000	69,076	-40,076
事業費	730,000	625,540	104,460
経済学部寄付金 (注 3)	795,000	594,126	200,874
臨時費用 (注 4)	100,000	106,056	-6,056
支出計	6,075,000	5,661,059	413,941
当期剰余金	0	0	0
合計	6,075,000	5,661,059	413,941

(注 1) 総会参加者55名 懇親会参加者208名 (うち学生86名)
 (注 2) 理事・代議員出欠往復はがき17,360円、役員総会案内11,408円等
 (注 3) 新入生歓迎オリエンテーション参加者昼食代418,598円、成績優秀者表彰 3名75,096円、海外留学助成 1名100,432円
 (注 4) 40周年講演会案内チラシ作成費用

●令和元年度 予算

第42期収支計算書

(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)

(収入の部) (単位：円)

勘定科目	予算額 (A)	前年実績額 (B)	差額(A)-(B)
会費収入 (245 名)	4,900,000	4,740,000	160,000
各部預金利息	100	117	-17
基金利息	1,600	1,694	-94
名簿売上	0	4,000	-4,000
基金取り崩し	0	212,748	-212,748
その他収入 (注 1)	1,180,000	702,500	477,500
名簿発行引当金繰戻し	2,000,000	0	2,000,000
収入計	8,081,700	5,661,059	2,420,641

(注 1) 事業部参加費 (18万円)、総会参加費 (100万円)

(支出の部) (単位：円)

勘定科目	予算額 (A)	前年実績額 (B)	差額(A)-(B)
名簿発行引当金	0	500,000	-500,000
名簿管理費用 (注 1)	700,000	54,216	645,784
会報発行費	1,050,000	1,026,366	23,634
総会費	2,161,000	2,168,769	-7,769
事務運営費	602,500	516,910	85,590
通信費	33,000	69,076	-36,076
事業費	815,000	625,540	189,460
経済学部寄付金 (注 2)	875,000	594,126	280,874
臨時費用 (注 3)	1,750,000	106,056	1,643,944
支出計	7,986,500	5,661,059	2,325,441
当期剰余金	95,200	0	95,200
合計	8,081,700	5,661,059	2,420,641

(注 1) 新規会員データ確認他
 (注 2) 新入生オリエンテーション食事代、成績優秀者表彰 3名、海外留学助成、OB講義謝礼
 (注 3) 40周年記念事業費用 (会報ページ数増、講師謝礼等)

令和元年度役員名簿 氏名の後ろ○印は新任

理事

●会長	卒業期	ゼミ
村井 清	6 期生	(山本)

●副会長

田中 喜夫	7 期生	(岡崎)
吉田 和生	20 期生	(國村)

庶務部 (16名)

●庶務部長		
近藤 敏之	12 期生	(西田)

●副庶務部長

山中 誠二○	14 期生	(安藤)
--------	-------	------

●庶務部

鬼頭 等	3 期生	(岡崎)
伊藤 孝	6 期生	(山本)
荒深美和子	9 期生	(木村)
倉地 弘美	14 期生	(松永)
森 美智子	14 期生	(塩見)
盛林 義久	15 期生	(松井)
木村 剛	17 期生	(注)
奥川 哲也	18 期生	(宮原)
吉田 和生	20 期生	(國村)
鳥羽 義人○	21 期生	(牛島)
田中 多聞	31 期生	(程島)

水野 誠	32 期生	(藤本)
吉村 篤	50 期生	(吉田)
林 里歩○	52 期生	(高橋)

編集部 (22名)

●編集部長

山田 一利	6 期生	(山本)
-------	------	------

●副編集部長

伊熊 啓人	6 期生	(妙見)
	(名簿担当)	

中村 英利	20 期生	(西田)
	(HP担当)	

●編集部

榊原 茂	1 期生	(松永)
小坂 英雄	4 期生	(山本)
中村 正治	5 期生	(木村)
中野 重治	6 期生	(山本)
水野 誠	13 期生	(宮川)
松川 倫典	16 期生	(塩見)
橋本 光生	18 期生	(醍醐)
服部 篤典	18 期生	(安藤)
湯浅 伸庸	18 期生	(安藤)
毛利 正○	20 期生	(松井)
石川 勇治	21 期生	(上村)
柴田 光晴	22 期生	(神山)

家田 嘉人	23 期生	(星野)
大谷 勝文○	23 期生	(牛島)
松浦 理早	28 期生	(星野)
松澤 孝宏	33 期生	(藤本)
新美 雅子	44 期生	(大野)
田中 駿	49 期生	(吉田)
津田 捷平	51 期生	(吉田)

事業部 (13名)

●事業部長

細野 博行	6 期生	(山本)
-------	------	------

●副事業部長

光岡 正和	14 期生	(宮原)
-------	-------	------

●事業部

佐藤 忠彦	1 期生	(金子)
都鳥忠比古	3 期生	(山本)
木村 新作	5 期生	(岩橋)
木河 勇二	21 期生	(岩橋)
森 康二	21 期生	(内藤)
中村 彩子	21 期生	(安藤)
長谷川真次	25 期生	(多和田)
浅野 雅幸	35 期生	(松村)
高木 敏行	38 期生	(前田)
荒木 靖也	44 期生	(吉田)
伊藤 佑真	49 期生	(中山)

渉外・広報部 (3名)

●渉外・広報部長

田中 喜夫	7 期生	(岡崎)
-------	------	------

●副渉外・広報部長

森 麻矢	28 期生	(塩見)
------	-------	------

●渉外・広報部

柳田 久代	40 期生	(森田)
-------	-------	------

会計部 (4名)

●会計部長

柴山 昭三	4 期生	(中居)
-------	------	------

●副会計部長

稲垣 謙二	18 期生	(國村)
-------	-------	------

●会計部

児島 和世	22 期生	(國村)
早川 弘晃	36 期生	(宮原)

●監事

前田 勝昭	1 期生	(岡崎)
長江 渉	6 期生	(牛島)

●顧問

栗野 泰次	1 期生	(大山)
前田 勝昭	1 期生	(岡崎)

※退任理事：逸見和弘 1 期生 (松永)、黒宮孝二 5 期生 (中居)、村岡範久 15 期生 (松井)、畔柳一 19 期生 (星野)

会員投稿

「アイドル適齢期」

「熟女アイドル」が全国的に広がりを見せているのはご存じでしょうか？主に40代～50代の女性为中心で、かつてはアラフォーアイドルと称されていましたが、高齢化してアラフィフ、アラ還世代も含まれます。ここ最近NHKの特番でも紹介されて認知度が上がっています。女性は子育てが一区切りするとなにか始めたい欲が出るという研究結果がありますが、それに加え、子供のころの夢を実現したい、いくつになっても輝きたい、ということでごこういう動きが出てきたと言われています。

私自身も50歳過ぎてからアイドルを始め、若い子に混じってアイドルフェスに出演したり、ご当地アイドルとして活動したりしています（「アイドルず」の「東山彩」でチェック！）。確かに、上述の理由もありますが、自分の場合、昔の固定化された概念の中で縛られていたものが一種正当化されたことが、大きな要因です。

小学生時代、確かにアイドルへの憧れはありましたが到底叶わない夢という認識でした。中学生時代、男子から「彩ちゃんは俺らのアイドル」と言われ喜んでいたら、友人に「浮かっている」と陰口を言われ、ミニスカートをはくと「目立とうとしてはしたくない」とそこでも陰口。今では若い子は当たり前前の服装をするだけで同級生から叩かれるので、そこでもアイドルへの道は封印されました。大学生時代、視聴者参加番組に出演する機会が多く、ものおじせずにしゃべれる子、ということで、マスコミ関係者から重宝がられました。でも友人らにマスコミ関係の仕事をしたくないという、そんなのなれるわけない、と頭から否定され、出たいアピールは封印。「自分からの志願は、はしたくない」という時代でした。しかし正社員時代、会社の宴会で顔に似合わないド演歌を歌っていた

中村 彩子（東山 彩） 21期生 安藤ゼミ

ら、顧客にスカウトされ、運よく大御所の先生と出会うことができ、歌手デビューして堂々と芸能人になりました。

結婚出産のためいったん歌手はやめたのですが、この数年になって、ボランティアを通して観光の勉強をする中、地元西尾市の観光協会から西尾の抹茶のPR曲を、というお話をいただき、色々な経緯を経てご当地アイドルをするに至っています。今の時代、やりたいと思えばやれる時代。もちろん、大学生の息子は母親のアイドル姿を嫌がりはしますが、周りの陰で非難する声は昔に比べて格段に少ないと感じます。むしろ、熟女アイドルは一部のアイドルヲタク以外に、幅広い世代にも受け入れられ、子供時代の否定していた友人たちは応援をしてくれます。観光学観点から、唯一無二の起業をしたと思っています。同時に熟女アイドルを生んだカルチャーを学術研究する唯一無二の研究者でもありたいと思っています。「アイドルず」は2020年に2人合わせて100歳になる、普段は大学講師と看護師で、セクシーさを売りにはせず、かつての昭和の時代のアイドルを彷彿とさせる正統派です。この活動が、高齢化社会の輝く一助になればと思っています。



支部 活動報告

関東支部

第2回総会&懇親会開催

6月2日（日）梅雨入り直前の快晴の元、1期生から20期生の30名で第2回総会&懇親会が行われました。奈良県から1期生の山田さんも駆けつけて頂き 賑やかな・楽しい・会話が弾んだとても充実した同窓会になりました。【人生100年と漢方の知恵】と題した講演を薬学部卒の雨谷先生にお話し頂き、全員が漢方の効用・素晴らしい力が良く分かったと納得。引き続き事業実績・計画、予算実績・計画が承認されました。懇親会では、1期生の七原さんの解説を交えて【映像で巡るラオスの旅】により貴重な体験を見聞きました。続いて若手芸人の歌謡ショーで楽しみ名市大クイズや同窓生のスピーチで人生を振り返り更に市大の応援歌『ああ我らの名市大』を全員で歌い、来年の再会を誓い解散となりました。

報告：小坂 英雄（4期生 山本ゼミ 剣道部）

※6月15日開催の「瑞山会総会資料」訂正のお知らせ（瑞山会事務局）

資料2頁「現時点の支部」で関東支部会員数を213名と記載しましたが、正しくは支部登録者398名でした。ちなみに、地区在籍者は413名です。



トヨタ自動車 「瑞鳳会」

- 開催日時 平成30年8月2日(木) 19:00~21:00
- 開催場所 豊田市内飲食店「蕎麦酒房 一献」
- 参加者数 11名(うち新卒会員2名)

トヨタ自動車の名市大卒業生の会である「瑞鳳会」の平成30年度総会、および新入会員歓迎も兼ねた懇親会を、瑞山会会長であり、会員でもある村井さんにもご参加頂き開催致しました。総会では、活動報告、瑞山会からの支部助成金の入金完了など会計報告に続き、新入会員4名を迎えたことを報告。今回、参加人数がいつもより少なめであったことを反省し、若手常連メンバーを幹事に加え、次回、参加を呼び掛けるよう約束しました。

それでも、懇親会ではおいしい料理とお酒を堪能しな

がら、いつもにもまして盛り上がりました。新人2名の挨拶、参加メンバーの自己紹介につづき、大学当時の思い出や現在のそれぞれの職場での仕事ぶりなど、始終笑い声が混じりながら、会話がはずんでいました。新人、若手、ベテランそれぞれ良い交流ができたのではないかと思います。

まだまだ続きそうな勢いの中、終了時間をむかえ、名残惜しくも、次回開催の場での再会を約束してお開きとなりました。

報告：森 康二(21期)



名市大会計人会

令和元年6月3日(月)ルブラ王山(名古屋市千種区)において、名古屋市立大学会計人会第9回定期総会および記念講演を開催しました。今回の記念講演では、名城大学法学部教授の伊川正樹先生をお招きし、「必要経費再考(発展編)～士業報酬は必要経費か?～」をテーマに御講演をいただきました。わが国の所得税は、10種類の所得に分類するところから各所得金額の計算が始まりますが、所得区分に応じた必要経費とは何かという、普段の実務では流してしまうようなテーマで立ち止まって考える非常にアカデミックな内容となり、参加した税理士会員も一同、考えさせられる内容でした。

定期総会では、経済学部より森田教授、湯之上准教授や、瑞山会より村井会長をはじめとして、名古屋税理士会会長、剣陵会(名市大大学院同窓会)会長のほか、近隣の愛知大学、愛知学院大学の各会計人会の会長など多くのご来賓と会員の参加を得て、大変活気のある総会となりました。



自動車部 OB会支部

- 会報19号発行(令和元年9月予定)
- 第13回ゴルフコンペ開催 同11月頃予定
- 令和元年度幹事会

開催日時：令和元年6月1日(土)

場所：華綺久(名古屋・伏見)

報告：松澤 孝宏(33期)



名古屋市役所「瑞名会」

- 採用内定者との交流会
開催日時：平成30年11月6日(火)
場所：名古屋市立大学 サクラサイドテラス
参加者：42名(会員19名、採用予定者18名、教職員11名)
内容：毎年恒例となった交流会には今年も多くの採用内定者が参加し、大学の教職員や市役所の先輩職員たちと様々な情報交換ができました。
- 「瑞名会」総会・懇親会
開催日時：平成30年11月9日(金)
場所：KKRホテル名古屋
参加者：82名
内容：総会の活動が途絶えていましたが、今回、5年ぶりに再開できました。今後も毎年開催し、交流を深めていきたいと思っております。

岐阜信用金庫 「滝子会」

- 開催日時：令和元年6月22日(土)
- 場所：EXEX SUITS(岐阜市)
- 参加者：21名

内容：コメント：総会では大竹会長の後任に酒井新会長が就任しました。懇親会では、会員各位の懇親を深め、活躍を期して散会しました。

報告：高木 敏行(38期)

豊田自動織機 「織名会」

- 令和元年度 事業計画
- ・総会/懇親会 9月開催予定

報告：長谷川 真次(25期)

新入生オリエンテーション

山の畑キャンパスの桜が満開の4月4日(木)、平成31年度(2019年度)経済学部入学生に対するオリエンテーションが、経済学部棟201教室にて開催されました。今年の入学生総数は245名。近年にない数の新入生を迎え、「瑞山会」村井会長から祝辞と今年は瑞山会設立40周年に当たる事を説明。田中副会長(渉外・広報部)からは「瑞山会」の準会員となった新入生に対し、瑞山会の役割・卒業生の活躍状況・年間行事等の説明を致しました。当日は前述に加え庶務部黒宮部長、近藤副部長が参加しました。



名市大経済学部OBによる「社会人講座」・・(2019年度) 実施予定

名市大OBが行う「社会人講義」として2007年(平成9年)に始まったもの。

経済学部OBが自分の得意な分野を3・4回生に伝えるもので、本年10月～来年1月にかけて開講。

<講師陣とテーマ>

- 第1～3回 【都島 忠比古】 第3期 1970年卒 元東海東京証券役員
証券ビジネスが金融市場の中でどのような機能を果たしているのか、その背景、経緯を見ながら証券ビジネスを具体的に論ずる。
1、フロストとは何だったのか — マエストロの挫折とバブルの正体
2、ハゲタカは再び君臨する — 孫正義の挑戦とファンドの将来
3、ハルヒコ君の大冒険 — 高橋是清とアベノミクスの可能性
- 第4～5回 【室殿 豊】 第3期 1970年卒 元豊田自動織機(株)専務取締役
「企業経営における人事労務管理」—グローバル経営の中で
人事制度、人材育成、労使関係などについて、自身の経験に基づき、日本及び北米を中心にした海外の事例を紹介し論ずる。
- 第6～8回 【村井 清】 第6期 1973年卒 元トヨタ自動車株式会社 担当部長・南山大学 非常勤講師
「自動車産業の生成 — 発展 — 課題」自動車が生産し発展した過程や自動車産業の特長を概観し今後の課題を明らかにする。又トヨタ自動車の生産方式(TPS)の概要を論ずる。
- 第9～10回 【伊藤 善広】 第13期 1980年卒 (株)愛知銀行 常務取締役 営業本部長
「世界・日本経済情勢や金融行政の変化に対応するため、地域金融機関は営業戦略・戦術をどのように変化させてきたのか」について営業最前線での体験から論ずる。
- 第11～12回 【中村 彩子】 第21期 1988年卒 (株)プラスチックプロ代表取締役 歌手 東山 彩
「消費者行動の法則であるAIDMAについて、行動に至るメディア活用について論ずる。
- 第13回 【田中 喜夫】 第7期 1974年卒 東海学院大学企画室長補佐 元愛知県私立大学広報委員長
「広報の重要性」について論じます。
1、広報活動の基本知識 2、販売促進と企業広報の違い
3、メディアとのリレーション作り 4、注目を得た広報展開
- 第14回 【片山 守】 第11期 1978年卒 ネットヨタ東京(株) 社長
1、トヨタ自工とトヨタ自販 2、国内流通政策の推移 3、百年に一度の大改革
4、自動車販売店の対応と働き方改革 5、全国に先駆けた東京直営店統合
- 第15回 【大岩 治夫】 第7期 1974年卒 (株)信用交換所 東京本社 社長
「与信管理をめぐるあれこれ」 1、与信管理とは 2、与信管理の仕事
3、会社の中での位置づけと役割 4、与信管理の仕事で学んだこと
5、今後の与信管理の方向性

【平成30年度 卒業記念パーティ】 & 【成績優秀者表彰】

3月25日（月）経済学部で平成30年度卒業記念パーティが名古屋マリオットアソシアホテルで開催されました。今年は100名を超える卒業生と大勢の教員の皆様が出席し大変盛大で賑やかなパーティとなりました。吉田経済学部長、郡学長、村井瑞山会会長の挨拶及び瑞山会表彰の後、三澤教授の乾杯発声でスタート。途中、今年から始まった経済学部長表彰や抽選会も行われ出席者は終始笑顔が絶えず楽しい会話が続いていました。司会も卒業生2名で行いパーティを仕切って盛り上げに一役かかっていました。記念撮影の後、卒業生は元気一杯で社会に巣立っていきました。尚、「瑞山会表彰」は、教授会の推薦を受け 成績優秀者2名（鳥海由依さん、桐山勇輝さん）と公認会計士合格（磯部藍佳さん）の3名を表彰させて頂きました。



【経済学部「新任教職員歓迎懇談会」が開催されました】

4月9日（火）午後6時半から桜山“サクラサイドテラス”にて経済学部「新任教職員歓迎懇談会」が開催され、瑞山会からは村井会長他7名が参加致しました。吉田学部長は2年目を迎えられ「諸課題に取り組むため各員の協力を」と述べられ、村井会長からは「教職員方々との連携と、コミュニケーションの一層の充実を図りたい」旨の挨拶をさせて頂きました。今年度新任教員は 鶴飼 宏成 教授（ベンチャービジネス・起業）湯之上 英雄 准教授（地方財政他）今年3月退任教員は 稲垣 一之 准教授（国際金融論担当）又、山の畑事務室事務長には瑞山会24期生の真下 恭史さんが着任されました。



■昨年度 留学支援制度による帰国報告

氏名：村上実野 留学先：台湾 文藻外語大学 期間：平成30年2月～7月31日

1年生の第2言語で中国語を選択していましたが、留学する前は自己紹介ができる程度でした。交換留学に挑戦してみたく、奨学金を申請させて頂きました。文藻外語大学（台湾）では、毎日2時間の中国語の授業に加え、現地の学生に週1回2時間中国語を教えてもらう制度を使う事で、日常生活では何とか言葉が通じるようになり、クラスメートから進歩が早いと褒められました。おかげさまでとても充実した台湾生活を過ごせました。

会員からの声 (令和元年瑞山会総会・懇親会案内の返信はがきから抜粋にて掲載致しました)

- ・体調を壊し6月15日は全て欠席します。瑞山会の成功を祈念いたします。(1期生 寺町 信雄)
- ・次兄の介護サポートで忙殺されている為、残念ながら参加できません。申し訳ありませんが、皆様に宜しくお伝えください。(2期生 長谷川 昇)
- ・剣陵会会長としても参加させていただきます。(2期生 杉本 和夫)
- ・ご苦勞様です。新しい元号となり益々瑞山会が発展しますように祈念します。まだ会社勤務です。行けるところまで行きます。(3期生 彦坂 亨良)
- ・役員の皆様いつもありがとうございます。ゴルフのみの参加で申し訳ございません。会社では未だ暫く会長で頑張っています。(3期生 林 嘉明)
- ・当日、南山大学での日本応用経済学会があり、役割上そちらに行っております。(4期生 多和田 眞)
- ・当日の午前中、瑞穂キャンパスに立寄り軟庭部のOB戦に参加します。(5期生 永谷 政利)
- ・瑞山会、瑞六会の同窓会で同窓生各人に合えるのが楽しみにってきた今日この頃です。古希を迎える年になって、益々その思いが強くなってきました。(6期生 山口 信夫)
- ・学生時代の出来事は鮮明に覚えておりますが、昨日何を食べたか思い出せません。(8期生 岡田 昌幸)
- ・名古屋まで行くチャンスがなかなか見つかりません。(8期生 古屋 建世)
- ・定年まであと2年になりました。体力の衰えを感じるものの、若い人に負けない様に頑張っています。(11期生 伊藤 英樹)
- ・お金がかからなくて、為になる話が聞けて良いと思います。(11期生 安藤 正容)
- ・ご案内有難うございます。丹羽宇一郎氏の講演を楽しみにしています。(19期生 西川 恵太郎)
- ・平成元年卒より31年、平成の時代はずっと社会人でした。新しい令和の時代はこれからの集大成の時代です。そしていつまで働くのか…？人生は100年だ。(22期生 宮田 直美)
- ・11年間、単身赴任生活でしたがこの春一旦解消して家族と生活できることになりました。(23期生 奥野 昌哉)
- ・NTT西日本に勤めておりこの度、CMに1秒だけ出演させていただきました。(46期生 上田 泰平)

名古屋市立大学交流会 総会・講演会・懇親会 開催される

平成31年2月17日(日)名古屋マリオットアソシアホテルにて過去最高の300名を超える参加者を迎え開催されました。

冒頭交流会土屋会長、郡学長の挨拶のあと、名古屋市出身の映画監督 堤 幸彦氏による講演が行われました。テーマは「映像制作の現場から」―地元東海への思いを込めて―

ご自身の学生時代の逸話、秋元康氏との交流逸話、制作に関与された作品への熱い想い、最新の映像コンテンツの紹介等多岐にわたり話を頂きました。

懇親会にも堤監督に参加頂き、交流会メンバーが周りを取り囲み大きな人の輪ができていました。

瑞山会も10名を超えるメンバーが参加し、堤監督や他学部のOB会役員との話に花が咲きました。

堤氏は現在名古屋栄地区やテレビ塔の活性化を応援する「TEAM SAKAE-YELL (チームさかえ〜)」の団長も務められています。



■■■ 2018山の畑ホームカミングパーティ開催される ■■■

2018山の畑ホームカミングパーティが9月16日（日）午後3時より35名が参加して山の畑キャンパスの学生食堂で開かれました。冒頭村井会長のあいさつでは来年の設立40周年記念総会の取り組み内容と本学開学70周年記念事業への寄附の要請がされ、吉田経済学部長からは開学70周年記念事業で学生会館の整備が予定され、同窓会スペースもできると説明された。企画の目玉はキーボード奏者の吉田さんの伴奏で懐かしい歌を皆で唄おうというものだ。歌詞本からリクエストをして、「青春時代」等数曲を唄った。曲名当てクイズではイントロ部でほとんど正答がでた。しかし途中から曲当ての人がその歌を披露したりして、まるで生伴奏つきのカラオケ大会の雰囲気になってしまった。次にキングレコード所属のOG歌手東山彩（本名 中村彩子）さんが昨年につづき登場。ステージ衣裳で持ち歌の「心雪達磨」や流行歌を唄って皆を楽しませてくれました。中締めは中野副会長にお願いし名残惜しいなかお開きとなりました。会場では開学70周年記念事業への寄附金箱を用意し2万円ほどの寄附金を頂きました。



今後の交流イベントの予定

●2019山の畑ホームカミングパーティー

日 時 : 令和元年9月29日(日) 15時~17時(予定)
場 所 : 滝子(山の畑)キャンパス「学生会館」
食堂

申込方法: 同封の案内ハガキ又は瑞山会ホームページ「行事参加返信」から申し込み下さい

●第74回ゴルフ大会

日 時 : 令和元年10月19日(土)
場 所 : ウッドフレンズ 森林公園ゴルフ場
西コース 集合時間 8時30分
組 数 : 10組 (OUT 5組、IN 5組) セルフプレー

申込方法: 瑞山会ホームページ「行事参加返信」から申し込み下さい

●山崎川 さくら祭り

日 時 : 令和2年4月5日(日) 午前11時30分頃
から

場 所 : 薬学部田辺キャンパス内 薬友会館1階

●第75回ゴルフ大会

日 時 : 令和2年4月18日(土) 予定

●令和2年度 総会兼代議員会・懇親会

日 時 : 令和2年6月20日(土)

場 所 : 名鉄ニューグランドホテル

瑞山会ホームページ アドレス: <https://www.zuizankai.jp>

<ご案内> 会員情報(住所等)変更申請は瑞山会ホームページ (<https://www.zuizankai.jp>) の「会員情報変更」からお願い致します。

ID: パスワード:

❖❖❖ 名古屋市立大学 開学70周年記念事業 寄付金のお願い ❖❖❖



名古屋市立大学は2018年に総合生命理学部新設し、現在では7学部7研究科と附属病院を有する総合大学に発展を遂げております。

瑞山会は、本学が開学70周年を機に開学100周年に向け大きく発展する為に実施される学生会館リニューアル(同窓会ゾーン、資料ゾーンの新設)や各キャンパスの施設整備等の記念事業に対し積極的な支援を推進いたしております。瑞山会会員皆様からも記念事業への一層のご支援を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。なお、今春お届けの瑞山会総会ご案内の中に「記念事業へのご寄附ご案内」を同封させて頂いておりますが、インターネット

による申し込みも可能です。(本学ホームページより手続きが可能です)

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/about/fund/apply/internet.html>

宜しくお願い申し上げます。

詳細は <https://www.nagoya-cu.ac.jp/about/profile/memorial/70h.html>